

区政のここが聞きたい

一般質問と答弁要旨

●詳細は、目黒区議会会議録または区議会ホームページの会議録検索をご覧ください。



直近の様々な課題にスピード感を持って対応せよ

自由民主党目黒区議団 飯田 倫子 議員

<地域コミュニティの活性化>

地域政策室が地域団体と意見交換会を実施したが、様々なご意見をいただき課題を把握したと思う。(1)これから「地域コミュニティ検討会」を立ち上げるに当たり、人材不足をどう考えていくか。(2)区民に一番身近な町会・自治会へのさらなる支援をどう実施するか。

を検討していく。(2)運営基盤の強化や人材確保の支援に向け、地域のかたを交えた検討会での意見等を踏まえ、区として可能な範囲で前向きに取り組んでいく。

<目黒区におけるいじめ防止策・不登校対策>

報道で悲しい事件を見ることが多くなった。本区でも不登校児童生徒が3割も増加している現実はどう対応するか。(1)スクールソーシャルワーカー(※1)の現状と対応を問う。(2)「目黒区いじめ防止対策推進条例(仮称)骨子案」が出され

たが、新教育長の下、チーム学校(※2)と教育委員会はどう関わっていくか。(3)条例(仮称)骨子案に地域の役割が載っているが、具体的な考えを問う。(4)不登校原因を作らぬよう、幼児教育の環境をどう配慮しているか。

たが、新教育長の下、チーム学校(※2)と教育委員会はどう関わっていくか。(3)条例(仮称)骨子案に地域の役割が載っているが、具体的な考えを問う。(4)不登校原因を作らぬよう、幼児教育の環境をどう配慮しているか。

教育長 (1)教育・福祉分野で活動経験のある社会福祉士等の有資格者を、めぐろ学校サポートセンターに1名配置。家庭環境等への働きかけ、関係機関との連携・調整などを行っている。(2)区長との一層の連携・協力を図り、スクールカウンセラー等の拡充など、チーム学校への支援を強化していく。(3)登下校時の地域の見守りなど児童・生徒が安心して生活できる環境づくりや健全育成への協力をお願いしている。(4)幼児教育をテーマとした研修の充実などにより、不登校の未然防止

に努める。

<区境区道の補修>

区境の区道の整備が遅れているが、今後の整備予定を問う。

区長 近隣区と情報共有を図りながら、巡回点検及び定期点検の結果に基づき適時適切な整備を行っていく。

【用語解説】

- ※1 スクールソーシャルワーカー:子どもの家庭環境による問題に対処するため、児童相談所と連携したり、教員を支援したりする福祉の専門家。
※2 チーム学校:教員の多忙感を解消することを目的に、公立小中高校に外部の専門家らを登用し、複雑化する課題に一つのチームとして対応すること。文部科学省の中央教育審議会の部会で示された構想。



住みやすく、歴史と文化ある目黒の魅力を発信せよ!!

公明党目黒区議団 佐藤 ゆたか 議員

<運動習慣継続の必要性>

メタボ・ロコモ(※1)予防、医療・介護費の削減につながる運動習慣の継続は重要だ。(1)生涯を通じて運動習慣の継続が重要と考えるのがいかがか。(2)区内全域で運動できる環境整備が必要と考えるのがいかがか。(3)スポーツ実施率を65%に向上とあるが、どのような方策を

考えているか。

区長 スポーツ庁では、「生涯を通じたスポーツ・運動習慣の継続及び地域スポーツ機会の確保」を施策の柱としている。区も同様の方向性で、より具体的な事業を推進している。(2)日常的なスポーツ活動の促進に向け、総合型地域スポーツクラブの全地区展開を進めて

いく。(3)スポーツ推進計画に基づき、区民の生きがいや健康づくりの推進等の取組みを進め、実施率の向上を図る。

<目黒の歴史観光>

目黒は浮世絵師の葛飾北斎や安藤広重が描いた歴史ある地域であるので、魅力をアピールすべきである。(1)案内板に浮世絵、多言語、QRコード(※2)を設置すべきではないか。(2)浮世絵新観光ルートや常設展の開催は、観光街づくりに寄与すると考えるのがいかがか。

区長 (1)区道や公園等の案内標識の多言語化・情報通信技術の積極的な活用を検討していく。(2)これまでめぐる歴史資料館で常設展等を行ってきたが、

多くの観光客に区内歴史探訪コースの一つとして訪れてもらうよう、所蔵資料の活用や多言語対応に努めていく。

【用語解説】

- ※1 メタボ・ロコモ:「メタボリックシンドローム」と「ロコモティブシンドローム」の略称。メタボは、内臓脂肪の蓄積を共通基盤として、高血圧、脂質異常、高血糖などの代謝機能障害を複数合併する症候群のこと。ロコモは、運動器の障害によって日常生活で人や道具の助けが必要な状態、またはその一歩手前の状態。
※2 QRコード:縦と横、二次元の図形を使って情報を記載する記号体系である二次元コードの一種。



障がい者、住宅の施策強化し、住民本位のまちづくりを

日本共産党目黒区議団 岩崎 ふみひろ 議員

<障がい者施策>

(1)障がい者グループホームや入所施設のさらなる増設計画を作るべきだが、どうか。(2)「あいアイ館」の利用者が65歳になっても引き続き障がい者向けのサービスを受けられるようにすべきだが、いかがか。(3)リフト付き福祉タクシーについて、現行の運行を継続し拡充すべきだが、いかがか。

保するグループホームの整備支援に取り組んでいく。(2)あいアイ館のデイサービス事業では、65歳になる利用者が介護保険サービスに円滑に移行できるよう、丁寧な相談支援を行っている。(3)今年度から介護タクシー利用回数券交付事業も始めた。今後は事業の実施状況を検証しながら、効果的な制度となるよう検討を進めていく。

<住宅施策>

区長 (1)計画改定に向けて十分検討するとともに、国公有地の活用など、障害を持つかたの地域での居住の場を確

保するグループホームの整備支援に取り組んでいく。(2)あいアイ館のデイサービス事業では、65歳になる利用者が介護保険サービスに円滑に移行できるよう、丁寧な相談支援を行っている。(3)今年度から介護タクシー利用回数券交付事業も始めた。今後は事業の実施状況を検証しながら、効果的な制度となるよう検討を進めていく。

として活用するとともに、住み替える世帯に家賃助成をすべきだが、いかがか。(2)若者単身世帯への家賃助成制度を創設すべきだが、どうか。

区長 (1)長期借上げは区の財政負担が著しく、国等の補助も見込まれないため、契約満了後に公的住宅として借上げることは困難と考えている。(2)就労支援とあわせて必要な対策を行っているため、実施の予定はない。

<防災まちづくり>

(1)耐震助成について、新耐震も対象にするよう検討を進めるべきだと思うが、いかがか。(2)西小山駅前の街づくりは防災と居住対策を中心に、低層の街づくりに徹するとともに、補助46号線沿道整備で転居せざるを得ない住民のための公的住宅確保に活用すべきだが、いかがか。(3)自由が丘駅前整備は防災

上必要な整備にとどめ、大型再開発ではなく低層のまちづくりにすべきだと思うが、いかがか。

区長 (1)一定の耐震性能を有している新耐震基準の建物を助成対象とすることは困難である。(2)当該地区の街づくりは、都市計画のルールの中で地権者の方々が主体的に検討を進めていくと認識している。区による従前居住者用住宅の建設は考えていない。(3)都市計画道路の整備は、駅前広場周辺における土地利用状況調査等を実施し、考え方を検討していく。低層のまちづくりについては、都市計画のルールの中で地権者が主体的に検討を進めていくものと認識している。



子育て世代の「受援力」強化を!

民進党目黒区議団 西崎 つばさ 議員

<子育て支援>

施策の充実だけでなく、そのサービスを積極的に利用していただくため、親御さんの「受援力」(※1)強化を図るべき。

区長 まずは自分の子どもをどう育てていくかを家庭で決めることが大事だと思う。それに合わせて保育園や幼稚園などの仕組みを設けること、さらに、その仕組みをきちんと区民の皆さま

んにお知らせすることが行政の役割であると考えている。
<子育てを応援する事業者の支援>
くるみんマーク(※2)の取得推進や区独自の認定、入札における優遇などを行い、仕事と子育ての両立を推進する事業者への支援を強化すべき。

区長 国はワーク・ライフ・バランスの推進に向け「くるみんマーク」を推奨している。区では、今年度から「ワーク・ライフ・バランス推進企業等支援制度」を新たに創設し、社会保険労務士の派

遣による相談やアドバイスをを行っている。子育てと仕事の両立を推進する事業者への支援施策の充実については、区としてどのような支援が必要か、事業者とも意見交換しながら調査・研究を進めていく。

【用語解説】

- ※1 受援力:他者に助けを求め、快くサポートを受け止める力。
※2 くるみんマーク:「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受けた証。



平均寿命90才へ。ずっと健康に。防災訓練は楽しく!

日本維新の会・無所属目黒区議団 松田 哲也 議員

<健康長寿>

少子高齢化の進展で、社会は10人が1人を支えた胴上げ型から、3人が1人の騎馬戦型、さらに1人が1人の肩車型へと変わっていく。平均寿命は女性約86才、男性約80才。健康寿命は女性約74才、男性約70才。その差が不健康な期間で女性は約12年間、男性も約10年間ある。

団塊世代が75才を超える「2025年問題」も迫り、2040年に女性の平均寿命は90才になるという。誰もがずっと健康を願う。老化は慢性炎症で進み、ストレスや個人的な快楽型満足感でも増加するが、生きがい型満足感で減少し若さでも維持されるという。家族や社会との関わりで満たされるような取組みを施設その

他で展開すべきだがどうか。

区長 高齢者自身が地域を支える一員として、長年培った技術や豊かな経験・知識を生かし積極的に貢献していくことは、生きがいや健康の維持増進につながるだけではなく、社会全体の活力を維持するためにも重要である。高齢者施設その他で、高齢者のかたが活躍できる場を提供するとともに、活躍の機会を創出することにより、「生きがい型満足感」を高め、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で、健康でいきいきと暮らし続けられるよう取り組んでいる重要な課題であり、区として

も、区民の健康寿命のさらなる延伸に向けて引き続き全力を挙げて取り組む。

<防災訓練>

参加者の固定化を解消するため、遊びの要素とシェイクアウト(※)型訓練を導入すべきだがどうか。

区長 どのようなシェイクアウト訓練のあり方が望ましいか、区の防災訓練にどのような形で取り入れることが効果的か、引き続き検討していく。

【用語解説】

- ※ シェイクアウト:2008年に米カリフォルニア州で始まった地震防災訓練。サイトで事前登録した参加者が、指定された日時に自宅や学校、勤務先など、それぞれがいる場所で机の下などにもぐって身を守る。



公衆便所が汚いぞ! 緑ヶ丘小プール盗難事件を追う!

未来倶楽部77 須藤 甚一郎 議員

目黒区の公衆便所は20カ所あるが、ほとんどが大変汚い。隣接した飲食店、食品店も多く衛生上問題だ。公衆便所を管理する公園事務所は、清掃状態をきちんと監視しているのか?

区長 19カ所を公園事務所が管理。区は、日常清掃委託業者に月間清掃作業

報告書を提出させている。公園事務所職員は、随時巡回のほか作業報告書をもとに点検を行い、清掃実施状況を確認している。

今年5月29日、緑ヶ丘小学校屋内プールで脱衣場ロッカーが壊され、利用者が2万円盗まれる事件発生。住民か

ら「ロッカーが壊れたままだ」と私に連絡があった。直ちに調査するとトンデモない事実が判明した。プール施設を管理する受託管理業者(株)ジンダイは4か月間も修理せず。なぜ、修理しなかったのか副責任者を追及すると、「見せしめです」と非常識な答え。

貴重品用ロッカーを使用しないと盗難に遭うと言うが理由にならない。区は年間5,300万円余を支払い、なぜこんな業者に委託したのか?修理したか否かチェックしなかった区も問題だ。

区長 プール運営・清掃業務委託はスポーツ振興課、プール棟設備管理委託

は学校施設計画課が所管。業務委託仕様書はそれぞれの所管で作成し、契約課に契約依頼をし、指名競争入札により受託業者を決定した。受託業者には、更衣室ロッカー内の巡回点検及び巡回報告書の提出、盗難発生時の速やかな警察署への通報等を求めている。

今回、鍵の交換部品を送付し取り付けを指示したにもかかわらず、受託業者の判断で修理を放置したことは大変遺憾。受託業者には、今後このようなことがないように再発防止を求めた。



小池都政と連携を強めよ! 脱役所で目黒区をアピール

鴨志田 リエ 議員

<小池都政と連携を強めよ>

知事の「23区の協力なくして都政は進まない。共に手を携えて進みたい」にどう取り組み、連携を強めるか。

区長 区民に最も近い行政を担う特別区への理解を求めるとともに、都区共

通の課題解決に向け、共に力を合わせ取り組んでいきたい。

<脱役所で目黒区をアピール>

(1)役所に記念撮影スポットを設置せよ。(2)シティプロモーション(※1)を兼ねた無料の「ご当地婚姻届」サイトに

参画し、目黒区ウェディングをアピールせよ。(3)役所に立礼席(※2)を設け、気軽に茶道を楽しむ機会を提供せよ。
区長 (1)場所の確保や財政負担に配慮し、早期に対応していく。(2)本区の魅力向上のみならず、区民の満足度を高める施策として研究課題と考える。(3)様々な目的で来庁されるお客様への対応、茶道具一式の整備や管理など庁舎管理上の課題もあるので、今後、慎重に検討していく。

<目黒のサクラ基金を地域指定へ>

基金は区内全体の桜に活用しているが、

目黒川といった地域指定の寄付を望む声に応えよ。

区長 サクラ基金は区全域を対象とした桜保全事業であるが、既存の制度である指定寄付金により、指定事業への活用が可能である。

【用語解説】

- ※1 シティプロモーション:観光客増加・定住人口獲得・企業誘致等を目的として、地域のイメージを高め、知名度を向上させる活動。
※2 立礼席(りゅうれいせき):テーブルと椅子を使って行われる茶道点前(てまえ)の一つの形態。



「結婚」も「離婚」も行政から積極的な関わりを!

竹村 ゆうい 議員

<親子断絶防止法制定を見据えて>

法務省作成の「子どもの養育に関する合意書作成の手引きとQ&A」が10月1日から離婚届とともに配布されている。

その運用状況と親子断絶防止法制定を見据えた取組みについて伺う。
区長 離婚後の面会交流等の実現に資するよう、離婚届書の交付時に配布し

ている。全国的に統一された対応が望ましい中で、親子断絶防止法案に関する今後の国の動きなどに注視するとともに、基礎的自治体としての役割についても研究していく

<目黒区総合庁舎ウェディング事業>

区独自の結婚支援事業だからこそ発展させるべき。事業者への運営評価・連携強化を進め、結婚式場とのパッケージプラン、婚姻届記念撮影コーナー設置、ご当地婚姻届作成、婚活イベント実施

など、区として結婚を積極的に応援すべきではないか。

区長 ウェディング事業の実施によって、区のイメージアップや独自性を発信していくという効果を大いに期待しており、多くのかたにウェディング事業を利用してほしいと考えている。今後は、挙式者へのアンケート調査実施の検討など、引き続き各事業者と連携を深めながら工夫して取り組んでいく。